

会津若松市立河東学園の事例

1 はじめに

- ・ 小学校課程を前期課程、中学校課程を後期課程という言い方をする。
- ・ 小学○年生や中学○年生といった言い方はしない・・・1年生、5年生、7年生(中学1年生)など。
- ・ 1年生の入学式、9年生の卒業式はあるが、6年生の卒業式と7年生の入学式はない。

2 一緒に行っていること

- ・ 前期課程の運動会と同日に後期課程ではスポーツフェスティバルを実施している。
- ・ 前期課程と後期課程が同日に学習発表会を実施している。前期課程は午前中で終了し、後期課程では午後に合唱コンクールを実施している。
- ・ 運動会前に前後期児童生徒一緒に校庭整地をしている。
- ・ 避難訓練も前後期児童生徒で実施している。
- ・ 引き渡し訓練も前後期児童生徒で実施している。
- ・ 着任式・入学式・始業式・終業式・修了式も前後期児童生徒で実施している。
- ・ 入学式は9年生が1年生の手をつないで一緒に入場する。
- ・ PTA 活動や組織は前後期一緒。
- ・ 授業参観も一緒に実施しているが、3学期のみ別に実施している。

3 児童生徒について

- ・ 入学の時から人間関係が変わらないので、前期課程から後期課程へ進級する6年生は違和感なく後期課程に進級することができている。
- ・ 入学式後、しばらくの間、地域ボランティアと9年生の希望者が「エプロン先生」と題して、1年生のお世話をしている。
- ・ 校舎は、前後期それぞれ建っていて、中央に管理棟あり、渡り廊下でつないでいる。前後期の児童生徒がそれぞれの校舎を行き来することはほとんどない。
- ・ 委員会は基本的に前後期別に行っているが、委員会によっては、前後期の交流がある。(保健委員会など)

4 授業について

- ・ 前後期の日課表が違うため、乗り入れするときの配慮が必要になる。
※前期課程45分 後期課程50分
- ・ 基本、前期の先生は前期の児童を、後期の先生は後期の生徒を指導する。後期の先生が前期の高学年の児童の教科を指導することがある。
※ R6・・・6年理科 R7・・・5, 6年体育 6年音楽 R8・・・6年音楽
後期の先生の免許によって乗り入れできる教科が変わる。

5 先生方について

- ・ 前後期の校舎にそれぞれ職員室があるため、先生方の動きが互いに分らない。
- ・ 会議等は、必要に応じて全職員で実施している。
- ・ 職員会議は月に一度、同日に全職員会議と前後期それぞれの職員会議を実施している。
- ・ 服務倫理委員会や現職教育も前後期一緒に実施している。
- ・ 前後期の先生方の交流が少ないため、名前も不確かなところもある。

6 その他

- ・ 6年児童の希望者が、後期の部活動に参加できる。
- ・ 前期課程の体育館を後期課程の部活動(バレー部)に貸出している。
- ・ 6年児童が、児童生徒会総会に参加している。